

「特別活動」（ホームルーム活動）学習指導案

- 1 日時・時限 平成〇〇年〇月〇〇日 〇時限（〇時〇〇分～〇時〇〇分）
- 2 学年組・人数 〇〇HR 〇〇名（男子〇〇名、女子〇〇名）（使用教室 〇〇HR教室）
- 3 生徒観 生徒の多くは携帯電話を所持しており、そのほとんどがスマートフォンである。スマートフォンの使用にあたっては、自分で使用する時間をコントロールしたり、インターネット機能の特性を理解して自分の個人情報が流出しないよう注意し、他人に迷惑をかけるような情報を流通させない、といった情報モラルが備わった生徒もいる。しかし一方で、スマートフォンの使用が長時間にわたり「ネット依存」の状態に陥っていたり、危険性に気づかず個人情報を流出するとともに、他人に迷惑をかける情報を流通させている生徒もおり、その結果生徒指導上の問題がホームルーム内で起こったりもしている。
- 4 教材名 パワーポイント教材「熊子の憂鬱」、ワークシート
- 5 大単元名 (2)適応と成長及び健康安全
- 6 大単元の目標 生徒一人一人が人間としての在り方生き方について幅広く探究し、心身の健康の保持増進に努め、豊かな人間性や個性の育成を図るとともに、社会の成員として必要とされる資質や能力を培っていく。
- 7 大単元の学習計画  
 ア 青年期の悩みや課題とその解決…………… 2時間  
 イ 自己及び他者の個性の理解と尊重…………… 2時間  
 ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任…………… 2時間  
 エ 男女相互の理解と協力…………… 1時間  
 オ コミュニケーション能力の育成と人間関係…………… 1時間  
 ……  
 …… (省略) ……  
 ケ 生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立…………… 1時間  
 本時の位置付け（1時間／13時間）
- 8 本時の小単元名 オ コミュニケーション能力の育成と人間関係
- 9 小単元の目標 情報化の進展など社会の急速な変化の中で、青少年の人間関係の希薄さや他人に共感して思いやる心の弱さなどが指摘されている。それがいじめなどの問題行動や不登校などの一つの要因になっていることに留意し、人間関係を形成する力や自己表現力、他者への思いやり、正義感、連帯感や協力心などをはぐくむ。
- 10 本時の主題 「いじめようとする気持ちをコントロールする」
- 11 本時の目標 スマートフォンのアプリ「LINE」の使用によって生じた「ネットいじめ」の事例から、人によって心の声（受け取り方）が違うことを知り、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールする方法を理解する。また、相手の状況を想像することによっても、感情をコントロールできることを理解する。

12 単元の指導計画

	学習活動・学習内容	学習活動に即した具体の評価規準
第1時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アイスブレイクのために、インターネット上の情報の拡散を体感する活動を行い、個人情報や他人に迷惑をかける情報の拡散がいかに重大なことかを理解する。</li> <li>○パワーポイント教材「熊子の憂鬱」を見る。</li> <li>○「熊子の憂鬱」を見て考えたことを、ワークシートに記入し、同じ班の班員に自分の考えを紹介する。</li> <li>○「LINE」のやりとりで、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないとき、どのような心の声をしているのか、そのとき感じている感情は何かをワークシートに記入し、同じ班の班員に書き出したことを紹介する。班の中で意見をシェアした後、班の意見を全体に向けて発表する。</li> <li>○発表の内容から、人によって心の声（受け取り方）が違うことを確認し、心の声（受け取り方）を変えることで、</li> </ul>	

<p>感情をコントロールできることを理解する。</p> <p>○「LINE」のやりとりで、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないときの相手の状況は、どのように想像できるかをワークシートに記入し、同じ班の班員に書き出したことを紹介する。班の中で意見をシェアした後、班の意見を全体に向けて発表する。</p> <p>○発表の内容から、相手の状況を想像することで、感情をコントロールできることを理解する。</p> <p>○人によって心の声（受け取り方）が違うことを確認し、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールできることを指摘する。</p> <p>○相手の状況を想像することでも、感情をコントロールできることを指摘する。</p> <p>○ワークシートを回収する。</p>	<p>○スマートフォンのアプリ「LINE」の使用によって生じた「ネットいじめ」の事例から、人によって心の声（受け取り方）が違うことを知り、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールする方法を理解している。</p> <p>○相手の状況を想像することによっても、感情をコントロールできることを理解している。</p> <p>→ワークシート</p>
--	--

### 13 本時の学習展開

	学習内容	生徒の活動	教師の活動と指導上の留意点	評価の観点・方法等
導 入	<p>○アイスブレイクのために、情報の拡散を体感する活動を行い、個人情報や他人に迷惑をかける情報の拡散が、いかに重大なことかを理解する。</p> <p>○今、スマートフォンのSNSとして高校生に多く用いられている「LINE」について、この授業で考えていくことを予告する。</p>	<p>○全員起立する。紙を渡された生徒は、その紙を半分に切って、その紙を他の人に渡した後、着席する。紙を受け取った生徒は、さらにその紙を半分に切り、まだ起立している他の人に渡して、着席する。紙を渡す人がいなくなるまで行う。</p> <p>○教師の話から、授業で「LINE」について考えていくことを理解する。</p>	<p>○活動が終わった後、この活動がインターネット上の情報の拡散を体感するためのものだったことを説明し、①インターネット上の情報が大変な早さで拡散すること、②情報が個人情報や他人に迷惑をかける情報であった場合重大な事態になることを、生徒に気づかせる。</p> <p>○授業内容についての予告は、簡潔なものにとどめる。</p>	
展	<p><b>【パワーポイント教材】「熊子の憂鬱」</b></p> <p>クラス替えで仲のいい友達と離れてしまった熊子は、ホームルームで孤立していた。そんなとき、同じホームルームのウサ子が熊子に「LINE」仲間にならないかと、声をかけてきた。熊子はウサ子と「LINE」でやりとりするようになる。ところが、ウサ子が「LINE」上にチェリ子の悪口を書き、熊子に同意を求めてきた。チェリ子の悪口を書きたくない熊子は、ウサ子の書き込みに対して反応しなかった。これに腹を立てたウサ子は、「LINE」仲間の中で熊子の悪口を書き始め、熊子が「ネットいじめ」のターゲットになってしまう。思い悩んだ熊子は引きこもるようになり、自分の悩みを聞いてくれそうな異性を「LINE」上に探し始める。これに応答したのがチャラ男。熊子はチャラ男と実際に会って親密な関係となり、裸の写真をチャラ男に撮らせてしまう。チャラ男は、熊子の裸の写真をインターネット上にのせ、これを見つけたウサ子が写真を「LINE」上に掲載、熊子の写真は仲間じゅうに知られるところとなり、熊子は学校に戻れなくなってしまった。</p>			
開	○パワーポイント教材「熊子の憂鬱」を見る。	○パワーポイント教材「熊子の憂鬱」を見る。	○ナレーションと画面の「LINE」上のやりとりを読みながら、パワーポイントのスライドを映写していく。	
	<p>(1) 物語に出てきた登場人物の「LINE」のやりとりで気になったことを、思いつくぶん書き出してみましょう。</p> <p>(2) 書き出したことを、同じ班の人たちに紹介しましょう。</p>			
開	○「熊子の憂鬱」を見て考えたことを、ワークシートに記入し、同じ班の班員に自分の考えを紹介する。	○「熊子の憂鬱」を見て考えたことを、ワークシートに記入し、同じ班の班員に自分の考えを紹介する。	○班の中での紹介が終わったら、「ウサ子が、チェリ子の悪口を書き込んだこと」「まる子が、熊子に対するウサ子の悪口に同調したこと」など、様々な考えが出たことを確認した上で、今後の学習では、「ウサ子が熊子の既読スルー（KS、既読無視）に腹を立てたこと」に着目していくこと	

展  
開

		を説明する。
	<p>(3) 物語では、ウサ子が熊子の既読スルー（KS、既読無視）に腹を立てていましたが、もしあなたが「LINE」で相手とやりとりするとき、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないとしたら、どのような心の声が出ているのか（受け取り方をしているのか）に耳を傾けて、思いつく分書いてみましょう。そして、そのとき感じている感情は何かも、思いつく分書いてみましょう。</p> <p>(4) 同じ班の人たちに、書き出したことを紹介してみましょう。</p> <p>(5) 班の中で出た意見を発表しましょう。</p>	
<p>○「LINE」のやりとりで、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないとき、どのような心の声が出ているのか（受け取り方をしているのか）、そのとき感じている感情は何かをワークシートに記入し、同じ班の班員に書き出したことを紹介する。班の中で意見をシェアした後、班の意見を全体に向けて発表する。</p> <p>○発表の内容から、人によって心の声（受け取り方）が違うことを確認し、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールできることを理解する。</p>	<p>○「LINE」のやりとりで、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないとき、どのような心の声が出ているのか（受け取り方をしているのか）に耳を傾けて、ワークシートに記入する。</p> <p>○続いて、そのとき感じている感情は何かも、ワークシートに記入する。</p> <p>○ワークシートに記入したことを、同じ班の班員に紹介する。</p> <p>○班の中で出た意見を、全体に向けて発表する。</p> <p>○発表と教師のまとめを聞き、人によって心の声（受け取り方）が違うことを確認し、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールできることを理解する。</p>	<p>○ウサ子は熊子の既読スルー（KS、既読無視）に腹を立てていたが、生徒自身が「LINE」でやりとりして自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ない、というときの心の声（受け取り方）を、ワークシートに記入するよう、指示する。</p> <p>○心の声（受け取り方）とともに、そのとき感じている感情（怒りや恨みといった不快な感情など）を、ワークシートに記入させる。</p> <p>○班の中で司会と発表者を決めさせ、司会の進行で、書き出したことを班員に紹介する。</p> <p>○発表者が、班員の意見を全体に向けて発表する。</p> <p>○ウサ子のような心の声（熊子はいつも返信が遅い上に既読スルー（KS、既読無視）もしている）と感情（怒り）ではなく、既読スルー（KS、既読無視）せざるを得ない何か事情がある、という心の声や、返信が来ないのは仕方ないととらえれば怒りや恨みといった感情にならない、という感情のコントロールの仕方を、発表の内容などから教師がまとめる。</p>
<p>○「LINE」のやりとりで、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないときの相手の状況は、どのように想像できるかをワークシートに記入し、同じ班の班員に書き出したことを紹介する。班の中で意見をシェアした後、班の意見を全体に向けて発表する。</p> <p>○発表の内容から、相手の状況を想像することで、感情をコントロールできることを理解する。</p>	<p>○「LINE」のやりとりで、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないときの、相手の状況を想像して、ワークシートに記入する。</p> <p>○ワークシートに記入したことを、同じ班の班員に紹介する。</p> <p>○班の中で出た意見を、全体に向けて発表する。</p> <p>○発表と教師のまとめを聞き、相手の状況を想像することで、感情をコン</p>	<p>(5) 物語では、熊子がなぜ既読スルー（KS、既読無視）しているのかを想像することなく、ウサ子は熊子に腹を立てていました。しかし、熊子がなぜ既読スルー（KS、既読無視）しているのかをウサ子が想像していたら、物語のようにならなかったかもしれません。あなたが「LINE」で相手とやりとりするとき、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないとしたら、相手はどのような状況だと思いますか。いろいろと想像してみましょう。そして、相手の状況を思いつく分書き出しましょう。</p> <p>(6) 同じ班の人たちに、書き出したことを紹介してみましょう。</p> <p>(7) 班の中で出た意見を発表しましょう。</p> <p>○熊子が既読スルー（KS、既読無視）したときの状況をウサ子が想像しなかったことが、熊子へのネットいじめに発展した一因になっていることを指摘した上で、生徒が「LINE」のやりとりで、自分の書き込んだことが既読されているのに相手から返信が来ないときの、相手の状況を想像するよう、指示する。</p> <p>○考えたことをワークシートに記入させる。</p> <p>○司会の進行で、書き出したことを班員に紹介する。</p> <p>○発表者が、班員の意見を全体に向けて発表する。</p> <p>○ウサ子のように、熊子がなぜ既読スルー（KS、既読無視）しているのかを想像することなく、怒りにまかせて腹を立てるのではなく、親と約束し</p>

		トロールできることを理解する。	ていた時間になったのでスマホを親に預けたから既読スルー（KS、既読無視）している、などと相手の状況を想像することで、怒りや恨みといった感情にならない、という感情のコントロールの仕方を、発表の内容などから教師がまとめる。	
まとめ	<p>○人によって心の声（受け取り方）が違うことを確認し、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールできることを指摘する。</p> <p>○相手の状況を想像することでも、感情をコントロールできることを指摘する。</p> <p>○ワークシートを回収する。</p>	<p>○ワークシートを確認しながら、人によって心の声（受け取り方）が違うことを確認し、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールできることを理解する。</p> <p>○相手の状況を想像することによっても、感情をコントロールできることを理解する。</p>	<p>○授業全体の流れを今一度ふり返り、人によって心の声（受け取り方）が違うことを確認し、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールできることを指摘する。</p> <p>○相手の状況を想像することによっても、感情をコントロールできることを指摘する。</p> <p>○ワークシートを回収する。</p>	<p>○スマートフォンのアプリ「LINE」の使用によって生じた「ネットいじめ」の事例から、人によって心の声（受け取り方）が違うことを知り、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールする方法を理解している。</p> <p>○相手の状況を想像することによっても、感情をコントロールできることを理解している。</p> <p>→ワークシート</p>

- 14 本時の評価と手だて スマートフォンのアプリ「LINE」の使用によって生じた「ネットいじめ」の事例から、人によって心の声（受け取り方）が違うことを知り、心の声（受け取り方）を変えることで、感情をコントロールする方法を理解している。また、相手の状況を想像することによっても、感情をコントロールできることを理解する。  
→ワークシートの記入状況を確認し、記入がうまくできていない生徒に対しては、個別に面談する。